令和８年９月２４日

小千谷市教育委員会
　教育長　松井　周之輔　　様

東山地区振興協議会長　韮澤　道行

小千谷市小中学校の再編に対する東山地区の意見要望等の提出について

東山地区では、昨年１２月に説明・依頼を受けておりました小中学校再編に対する考え方の報告について、東山地区代表者懇談会を開催しまとめたのを提出いたします。

小千谷市小中学校の再編に対する
東山地区の意見要望

令和８年９月１６日
東山地区代表者懇談会

１　「東山地区代表者懇談会」参集範囲

東山地区振興協議会	：	会長、副会長２名、事務局１名	計　４名
町内会長	：	９町内	計　９名
保護者（中学生以下）	：	保護者（中学生以下）	計２９名

※　第２回から自由参加とした校区民の参加は無し。

合計４２名

２　意見取りまとめ方法

保護者（中学生以下を持つ保護者）	：	保護者会会議実施
校区民（小学生以上）	：	アンケート実施（別添参照）

３　会議等実施日

令和７年１２月　：小千谷市教育委員会からの説明
令和８年　４月３０日（木）：第１回代表者懇談会　東山住民センター
令和８年　５月１２日（火）：第１回保護者会会議　東山住民センター
令和８年　５月下旬　：全校区民アンケート全戸配布（6/7 提出期限）
令和８年　６月１６日（火）：第２回保護者会会議　東山住民センター
※　第２回以降、校区民の自由参加を呼び掛け。
令和８年　７月　２日（木）：第３回保護者会会議　東山住民センター
令和８年　７月２３日（木）：第２回代表者懇談会　東山住民センター
※　松井教育長、市担当課３名が参加。
令和８年　８月　５日（水）：第４回保護者会会議　東山住民センター
令和８年　８月２９日（土）：第５回保護者会　書面報告
令和８年　９月１６日（水）：第３回代表者懇談会　東山住民センター
※　意見要望内容を決定。

４　東山地区の学校再編に対する考え方

東山地区では、昨年１２月に説明・依頼のあった学校再編を話し合う場として、中学生以下の子供を持つ保護者、町内会長、東山地区振興協議会三役・事務局のほか、校区民の参加を自由参加とした代表者懇談会を開催しました。話し合いの過程において校区民全体にアンケートを実施し、その結果を踏まえて話し合いを進めました。

小学校については、現時点では最後のあがきとして「小規模特認校で存続する」ことを結論としました。加えて、児童数が少ない現状と今後減少していく推移も認識しているため、統合せざるを得ないと判断する指標として「東山小学校設立３０周年（令和１４年度）を再考の時期」と捉え、その２年前（令和１２年度）に改めて意見交換することを確認しました。それまでの３年間は、特認校の周知と地域のＰＲ等、保護者としてできることを実行していきます。

この結論は、“在り方検討委員会”の答申にある本来あるべき小学校の規模とは異なる一方で、特色ある教育や、役回りが多く主体的に行動できる子供が育っているこの東山小学校で学ぶことは、子供たちにとって良い部分が多く残っていることを、保護者が常々実感しているからこその結論です。

５　東山地区の結論（要望）

前述の考え方により、東山地区は以下のとおり要望いたします。

東山小学校は、「小規模特認校」制度の導入による「存続」を要望いたします。

中学校は、子供に選択の道を残し「２校以上」を希望いたします。

また、小学校の小規模特認校の導入に対しては、同時に放課後の児童支援対策を確立させておくことが、児童数の増加・維持に直結する重要課題になると実感しています。その現実的な方法の他、特認校についての教育内容、地域と保護者の関係、周知方法・範囲等、地域全体として把握し、取り組むべきことも多いと思いますので、ご指導とご協力をお願いいたします。

なお、継続して児童数の推移を注視し、令和１４年度の東山小学校３０周年を指標として、その２年前の令和１２年度に改めて意見交換したいと考えています。

６　終わりに

特認校が軌道に乗り、小規模ながらもこれからの時代に引けを取らない教育が確立され、地域としても「存続して良かった」と思えるよう、何より子供たちのために小規模校の欠点・不足部分を補う協力ができるよう地域と保護者が一丸となって、東山小学校存続への自助努力を継続していきます。